

令和2年度かいぼり結果概要報告【水元公園：オニバス池 18号】

1. かいぼりの概要

【実施日】 令和2年11月21日

【天候】 晴れ、曇り

【生物調査参加者数】

ボランティア19人・関係者約27人

2. 結果概要

【水質】 かいぼり後、18号池の透視度は良好で、SSは減少しました。一方でT-Pがかいぼり前の2倍近くなりました。底泥の除去を行っていないことから、水質の大きな改善は確認できないが、池底の天日干しや水の入替えを行ったことで、透視度の改善に一定の効果があったと考えられます。その他の項目については、井水により復水したことから池の水質は、井水の水質に起因していると考えられます。

【水生生物】 かいぼりでは、重要種であるスジエビ、ドジョウが確認されています。一方で、特定外来生物に指定されている、アメリカザリガニも確認されており、今後も池の生物を見守っていく必要があります。

3. 調査結果

水質

項目	単位	令和2年度	
		かいぼり前	かいぼり後
調査日		R2.7.31	R3.2.25
天候		曇	晴
気温	°C	27.5	10
水深	m	-	-
水温	°C	26	9
透視度	cm	>50	>50
ORP(酸化還元電位)	mV	+346	+343
pH(水素イオン指数)		8.2	9.1
COD(化学的酸素要求量)	mg/L	6.9	6.7
BOD(生物化学的酸素消費量)	mg/L	2.8	2.9
T-N(全窒素)	mg/L	0.49	0.58
T-P(全リン)	mg/L	0.137	0.255
DO(溶存酸素)	mg/L	11.6	11.8
SS(浮遊物質量)	mg/L	6	4

捕獲した生物と個体数

和名	令和2年度		重要種		外来種 ^{※3}
	かいぼり前	かいぼり時	環境省R ^{※1} (2020)	東京都RDB ^{※2} (2013) 区部	
	R2.7.20	R2.11.21			
アゴトゲヨコエビ		1			
エビノコバン		2			
スジエビ	23	23		留意種	
アメリカザリガニ	22	6			○
モツゴ		5			
ツチフキ		7			○
ドジョウ		538	NT		
ヨシノボリ属		27			
トウヨシノボリ類	3				

かいぼり前・かいぼり後はサンプリング調査、かいぼり時は全数捕獲

※1 環境省レッドリスト 2020 ※2 レッドデータブック東京 2013
 ※3 外来種：人間の手によって、ほかの地域から入ってきた生物のこと

